第2回有識者懇談会での指摘事項への対応

資料1

めざす姿について

◆ **指摘事項**

- 第3案「安全・安心な北海道をつくり、国全体の強靱化に貢献するバックアップ機能を発揮する」を改良
- 第3案の前半部分をしっかり書いて北海道のポテンシャルの高さも表現できるとよい
- 「安全・安心な北海道」の表現は良い、加えて「災害に強い北海道」を表現したい
- 道民、行政、企業の方も含めて、どのような計画であるかが伝わるメッセージ性のある表現が必要
- 「北海道が国の強靱化に貢献する」という意味合いがほしい
- 「バックアップ機能」は北海道ならではの特徴であり言葉に拘らずとも表現したい
- 「バックアップ」には北海道の向上や東京を支える意味もある
- 全ての人が自分ごととして考え共有できるような文言としたい
- どのように道民に伝え道民の関心を高めるかの視点で表現を検討
- 北海道が国自体を強くしていくというメッセージがあってもよい
- 一文で全てを表現しなくても、階層的な文章表現でもよい
- 修正案の作成は、事務局と高橋座長に一任

＜対応＞ 指摘事項より第3案を改良することを踏まえ、高橋座長と打合せを行い修正案を作成

【修正案】「安全・安心で強靱な地域と人をつくり、国土の強靱化を支える北海道」

修正のポイント

- 前半部分を「強靱な地域と人をつくり」として、より「地域」にフォーカスし、地域のコミュニティーの「共助」と一人一人の「自助」を大切にすることを表現。一人一人が自分ごととして共感できるメッセージとなるのではないか。

- 「国全体の～バックアップ機能を発揮する」を「国土の強靱化を支える」と要約しメッセージ性を高めた。

次回の有識者懇談会（計画素案提示）までに最終決定

第2回有識者懇談会での指摘事項への対応

新たなリスクシナリオについて

◆ **指摘事項 1**

・今回の検討にあたっては「災害関連死を予防する」という観点が重要
・避難所の生活環境の確保は重要であるが、前提として数が不足してはならない

＜対応＞

・指摘事項を踏まえて次のとおり修正案を作成

【修正案】 リスクシナリオ　２－４
避難施設やトイレ、暖房の不足等による劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による災害関連死等~~死者~~の発生 （道内）

◆ **指摘事項 2**

・検討の前提条件となる、「人口減少」「人材の絶対的不足」「高齢化」などの言葉を入れた方が良い

＜対応＞

・ 指摘のとおり、「人口減少」「人材の絶対的不足」「高齢化」は、検討の前提条件であるため、個別のリスクシナリオとしてではなく、「北海道強靱化計画の基本的な考え方」に記載したい。（計画素案検討時に提示）

【修正案】 リスクシナリオ　６－２
復旧・復興等を担う人材の絶対的不足や~~高齢化等による~~地域コミュニティの機能低下 （道内/道外）

第2回有識者懇談会での指摘事項への対応

成果指標について

◆ **指摘事項**

- 「バックアップ機能」をどのように評価するのか検討が必要
- 指標の数値目標値の達成のみならず、北海道の強靱化に資するものとなっているか本質的な目的を意識
- データの取得について、今後、新技術の活用や予測精度の向上の検討も必要

＜対応＞

第3回懇談会（脆弱性評価）にて、指摘事項を踏まえて脆弱性評価の成果指標を提示

その他（施策プログラムの設定など）

◆ **指摘事項**

- 現行で実施していない施策を促したり、国へ要望するような目標値の設定も検討してはどうか
- 台湾の避難所も参考に、避難所開設キットの設置率把握や規格の統一なども検討してはどうか
- 酷暑など気象変動に対する対策
- 広域連携の取組も必要

＜対応＞

指摘事項については、今後、次期計画の施策プログラムを設定する際に検討し提示